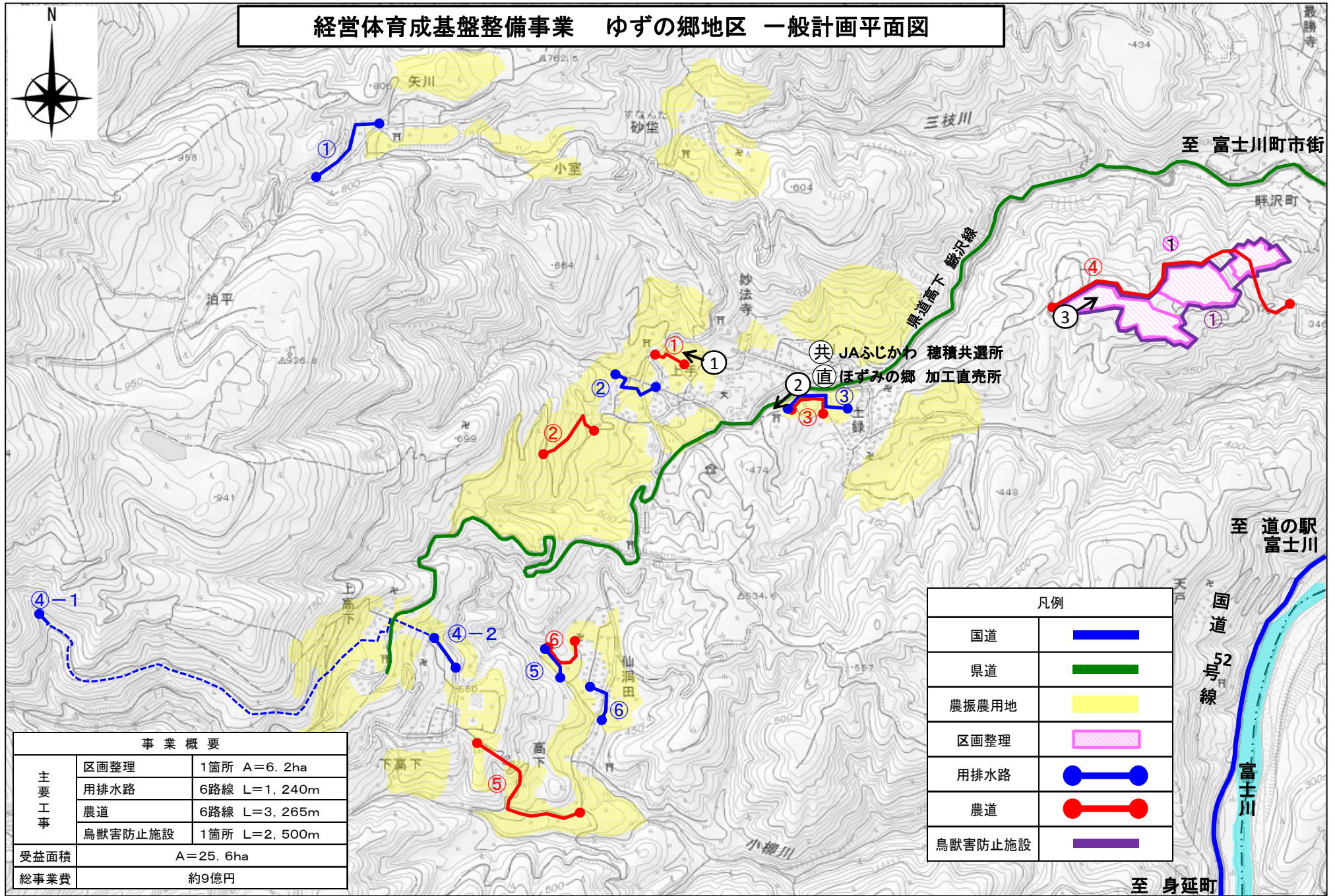


NO. 6 事業名 経営体育成基盤整備事業（国補）
箇所・地区名 ゆずの郷さと

1. 事業評価説明シート

事業名	経営体育成基盤整備事業（国補）	事業箇所	南巨摩郡富士川町小室 他	地区名	ゆずの郷	事業主体	山梨県															
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 本地区は、甲府盆地の南西に位置する山間地域であり、山地特有の気象条件を活かたゆずの栽培と水稲が盛んな地域である。 しかし、農業生産基盤の整備水準が低く、小区画で不整形な農地や未整備の水路、狭小な道路が多く、作業効率の低さによる遊休農地の増加や担い手不足が懸念されている。 一方、地域では農業者が設立した日出づる里活性化組合が、特産のゆずや地域農産物を活用した6次産業化を積極的に進めており、製品開発から製造、販売までの体制が安定し、販路も拡大している。 このことから、区画整理や農道等の基盤整備を一体的に行い、農作業の効率化や農産物の安定生産を図ることで、さらなる6次産業化の推進による農業者の収益向上や継続的な地域農業の発展と地域振興を図るものである。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得額の増加 3,049千円/ha ≥ 703千円/ha ※</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 ○農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 -9年 ≤ 0年 ※ ・用水能力向上率 (計画用水能力0.356m³/s) ÷ (現況用水能力0.191m³/s) =1.86m³/s ≥ 1.0 ※ (※評価基準値)</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全 ○重要プロジェクトとしての位置づけ (新・やまなし農業大綱)</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・本事業は、食料・農業・農村基本法に位置づけられている農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・土地改良法施工令第50条第3項により県が事業主体となって行うべきものである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益 (B) / 費用 (C) = 1.57 > 1.00 ・便益 (B) = 1,553百万円 ・費用 (C) = 986百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地区内の営農条件改善に必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・受益面積規模、事業対象工種から、経営体育成基盤整備事業で対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・早期着工の要望あり</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>【事業位置図等】</p>																				
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 区画整理 A=6.2ha、用排水路 L=1,240m 農道 L=3,265m、鳥獣害防止施設 1ヶ所</p> <p>②整備期間 平成29年度～平成33年度</p> <p>③総事業費 約9億円 (国費4.95億円(5.5/10)県費2.475億円(2.75/10)市費等1.575億円(1.75/10))</p> <p>④全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="0"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>測量・設計</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>区画整理・農道</td> <td>150百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>区画整理・用排水路・農道・鳥獣害防止施設</td> <td>250百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>区画整理・用排水路・農道・鳥獣害防止施設</td> <td>250百万円</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>農業用排水路・農道・鳥獣害防止施設</td> <td>200百万円</td> </tr> </table> <p>⑤既整備内容・期間・事業費 ・該当なし</p>		平成29年度	測量・設計	50百万円	平成30年度	区画整理・農道	150百万円	平成31年度	区画整理・用排水路・農道・鳥獣害防止施設	250百万円	平成32年度	区画整理・用排水路・農道・鳥獣害防止施設	250百万円	平成33年度	農業用排水路・農道・鳥獣害防止施設	200百万円						
平成29年度	測量・設計	50百万円																				
平成30年度	区画整理・農道	150百万円																				
平成31年度	区画整理・用排水路・農道・鳥獣害防止施設	250百万円																				
平成32年度	区画整理・用排水路・農道・鳥獣害防止施設	250百万円																				
平成33年度	農業用排水路・農道・鳥獣害防止施設	200百万円																				

2. 添付資料シート(1)



2. 添付資料シート（2）



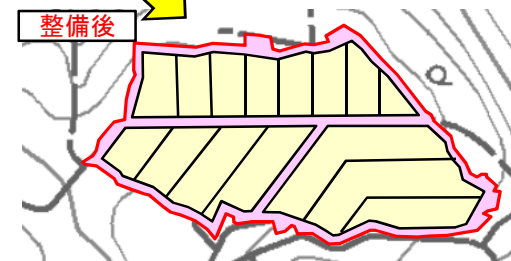
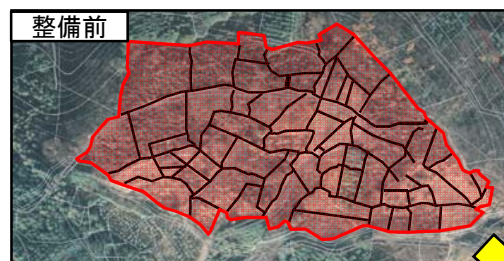
①幅員が狭い農道のため、農業機械の通行に支障が生じている。



②未整備な用排水路は漏水が多く、安定した用水の確保が困難な状況で維持管理にも苦慮している。



③区画整理計画地は道路幅員も狭く、シカによる被害も発生しており、年々遊休農地も増加している。



④不整形で狭小なほ場を集積し、農作業の効率化を図るとともに、遊休農地の解消を図る。